

## 提案4 下水道から広がる環境学習

### キャッチコピー のぞいてみる? 「下水道の世界」

#### 情報発信のポイント

- ターゲットは子供達とし、継続的な学習機会をサポート。
- 水環境の重要性を認識し、自ら行動を起こすきっかけ作りをサポート。

#### 1. 今までの情報発信

##### (取り組み状況)

- 出前教室の実施（小学校・中学校・一般）
- 下水道フェアなどの年1回のイベント
- 下水道サポーター制度の導入

##### (課題・問題)

- 出前教室は申し込みが少なく、活動が浸透していない。
- 啓発用配布物としてパンフレット等が多く、印象に残らない。
- 行政側からの一方的な発信となっている。
- 行政側の負担が大きい⇔教職員の負担が大きい（総合学習）
- 下水関連イベントに参加する動機がない。
- 下水道サポーターの活動範囲が狭い。

#### 2. 下水道未来計画研究会としての提案

##### 【出前教室を浸透させるための仕組み作り】

出前教室を下水道サポーターと共に開催し、教職員の負担を軽減することで、出前教室の普及を目指す。

##### 【出前教室をフォローアップする仕組み作り】

出前教室で理解できなかったことを学習できる機会として、下水道イベントや下水道ホームページの存在を出前教室でPRしていく。

##### 【形として残る活動や環境負荷の低減に資する活動の提案】

汚泥レンガや汚泥コンポストを卒業制作や学校行事で活用してもらうことにより、製品から下水道を連想してもらうきっかけとなり、さらに下水道の多様な役割も認識してもらう機会が設定される。

#### 3. 提案を受けて想定される情報発信

##### 【出前教室を浸透させるための仕組み作り】

- 1) 教職員を対象とし、巡回PR及び出前教室を開催

2) 出前教室時の配布物の見直し

パンフレットのみ→× 下水道PRにつながる日用品→○

例：啓発標語入りマグネット

3) 下水道サポーターの育成

### 【出前教室をフォローアップする仕組み作り】

1) 出前教室後のアンケートの実施（質問・感想）⇒内容の見直し

2) 下水道イベントの紹介（出前教室開催時にPR）

3) 下水処理の疑似体験（クイズ形式？）ができるホームページの開設・紹介

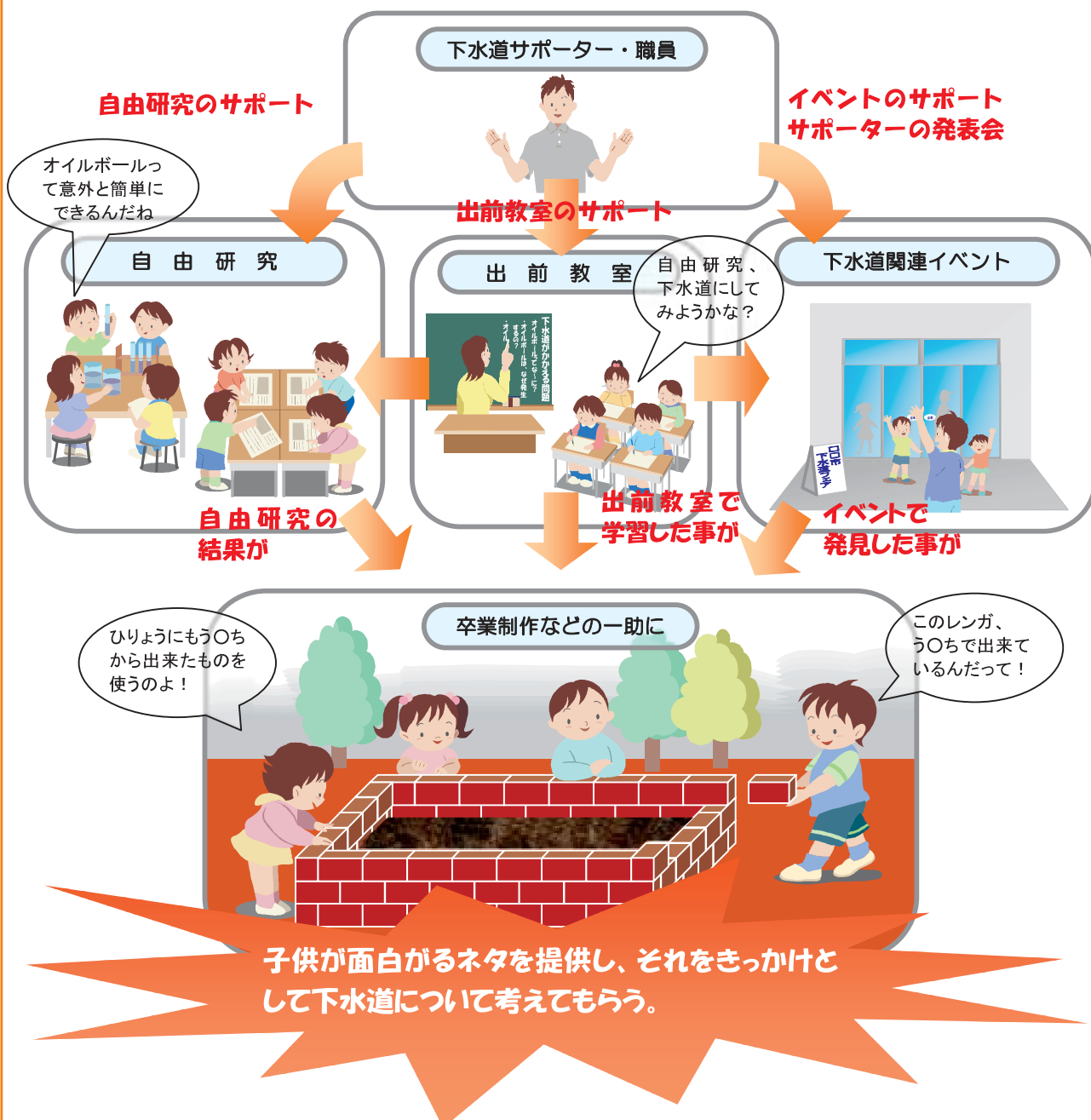
4) 自由研究テーマを提供

例：優秀研究者は下水道フェアなどで表彰する。

### 【形として残る活動や環境負荷の低減に資する活動の提案】

1) 汚泥レンガ・タイルを利用した卒業制作

2) 卒業記念の植樹や屋上緑化活動に汚泥コンポストを利用



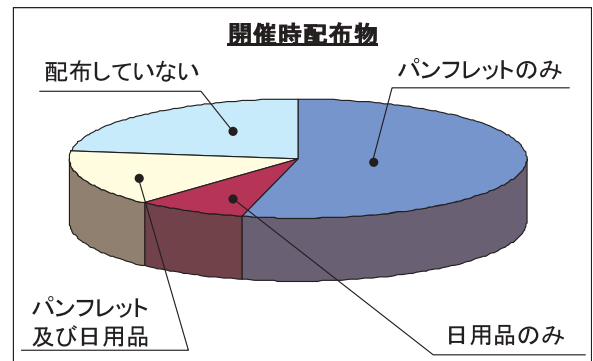
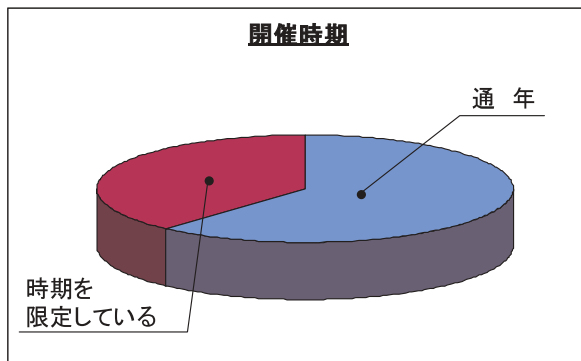
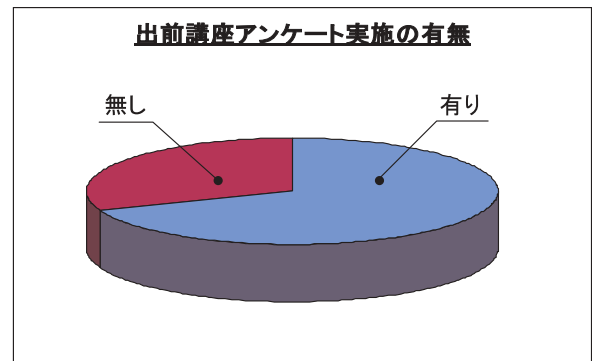
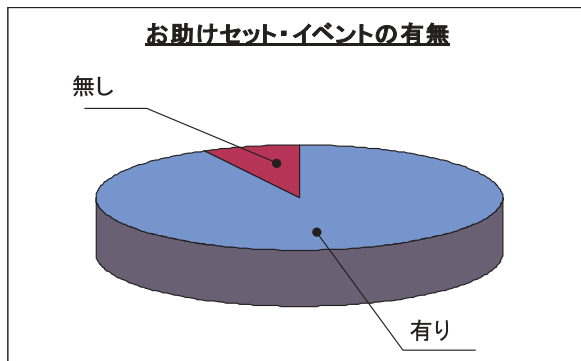
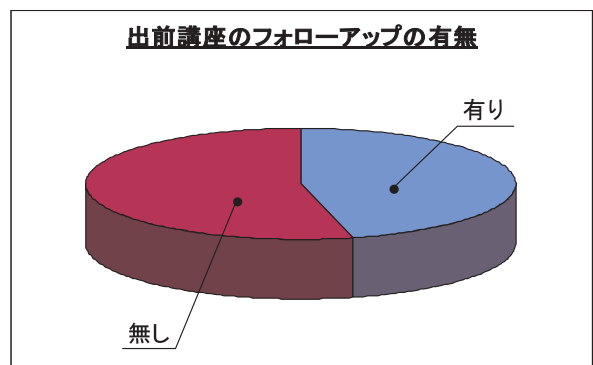
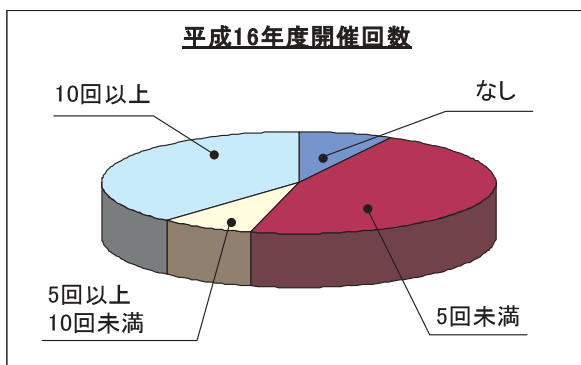
大都市における出前講座・出前教室の実施状況

出前講座・出前教室は15都市中13都市において実施されている。ここでは平成16年度の実施状況について、取り組みをしている都市を対象として集計を行った。その結果、開催回数については5回以下が最も多く、10回以上行っている都市は5都市であった。また、各都市では出前講座の実施時に資料等を配布しているものの、パンフレットのみが多いという結果が得られた。

さらに出前講座以外でも下水道に関するイベントを開催している都市があり、出前講座後のアンケートを実施している都市は半数以上あるものの、フォローアップを実施している都市は半分以下であった。

(調査対象都市数 15都市、回答都市数 15都市)

※グラフは出前教室・出前講座に取り組んでいる13都市を対象としている。

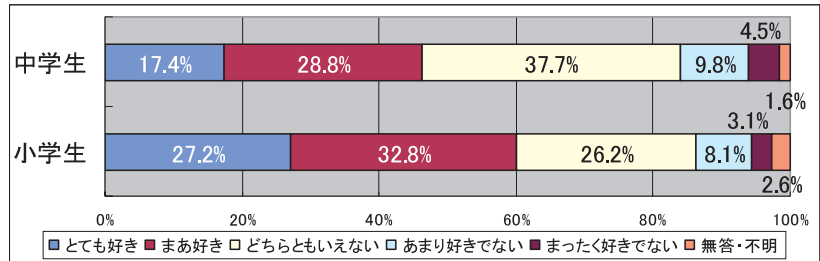


## 総合的な学習に関する現状

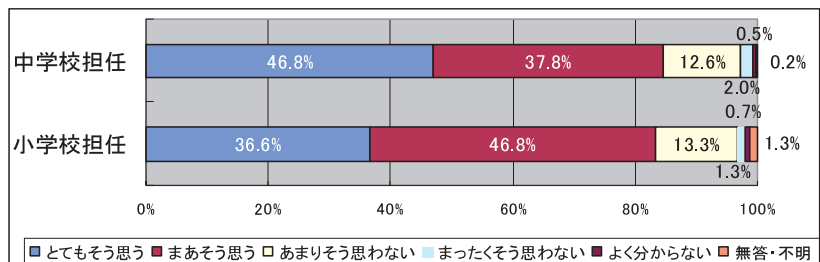
文部科学省の「義務教育に関する意識調査」の結果によると、総合学習そのものは小学生・中学生共に好きだと考えている傾向が見てとれる。一方、指導する側の教師については、教師の力量や熱意にばらつきがあると考えている傾向があり、さらに資料作成や授業の準備など、教師の負担が重いと考えている。また、生徒はコンピュータを使って調べる時間や、先生以外の方が勉強を教えてくれる時間を好んでいるようである。

以上の事から総合的な学習の時間において、下水道の出前教室を行う事が生徒側、教師側双方にメリットがあり、下水道をPRしていく上で有効と考える。

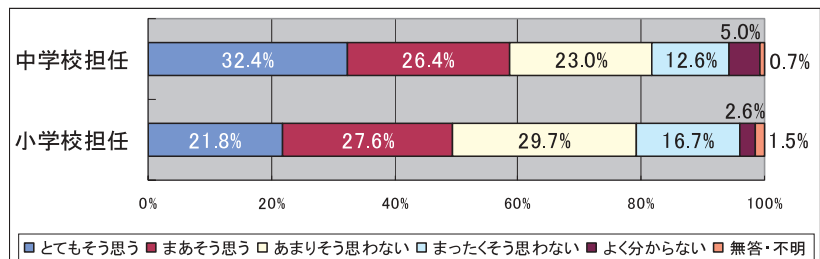
### ① 総合的な学習の時間について



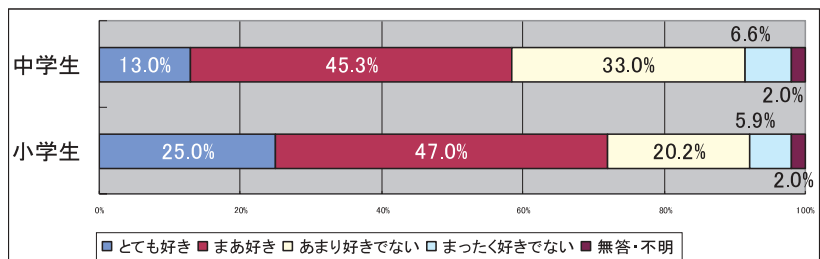
### ② 教師の力量や熱意に差があり指導にばらつきが出る



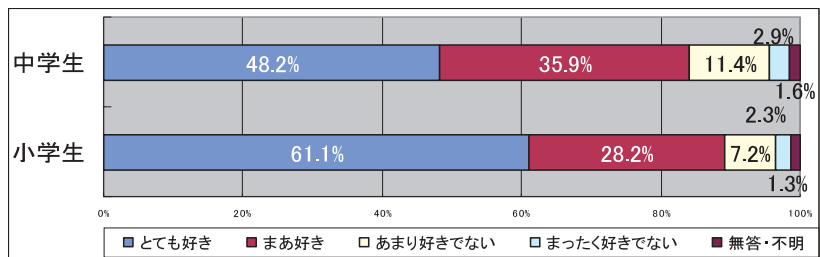
### ③ 教材作成や打合せなど授業の準備に時間がかかり、教師の負担が大きくて大変だ



### ④ 「総合的な学習の時間」を担当する専門の先生を置く



### ⑤ 授業や学習活動の好き嫌い先生以外の方が勉強を教えてくれる時間



### ⑥ 授業や学習活動の好き嫌いコンピュータを使って調べる時間

